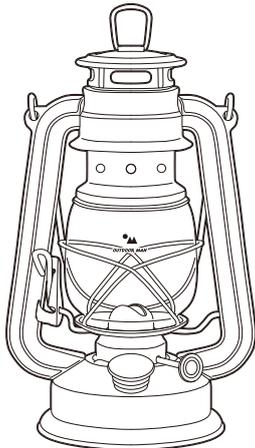




# OIL LANTERN

オイルランタン

## 取扱説明書



製品の最新情報は弊社公式サイトよりご確認ください。  
<https://www.lithon.co.jp/product/outdoor/kolt011>

このたびは、お買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

※オイルは別売りです。  
※ホワイトガソリン・ガソリン・アルコール・ベンジンは使用しないでください。

### 安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください。

この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使いいただくために内容を十分にご理解いただけますようお願いいたします。



#### 警告

この表示は、内容を見逃し間違った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険性の高い内容を示しています。

- 燃料は白灯油(家庭用の暖房器具に使用する灯油)、またはランタン用のパラフィンオイルをお使いください。また、燃焼中に燃料を注ぎ足さないでください。
- ホワイトガソリン・ガソリン・アルコール・ベンジンなど揮発性や引火性の高い燃料は絶対に使用しないでください。
- 注油口キャップは無理に締めつけないでください。強く締めすぎると注油口とタンクとの接合部のかしめが外れてしまうことがあるので、キャップの開け閉めは適度な力でおこなってください。
- ご使用前に本体の変形や破損などがないか必ず確認してください。異常を見つけた際は、使用しないでください。
- 必ず屋外の広い場所で使用してください。
- 燃えやすい物や熱に弱いものを近くで使用しないでください。
- 使用中はランタンのそばから離れないようにしてください。
- 燃焼中及び消火直後は本体が高温になっていますので直接触れないでください。
- テント内・車内・換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。
- 室内で使用の場合は、火災の発生と、一酸化炭素中毒になる恐れがあるので換気をこまめにおこなうように注意してください。
- 吊り下げの際は、丈夫で熱に強いところで垂直に吊り下げてください。
- 給油は必ず消火・冷却した状態で火気のない場所でおこなってください。



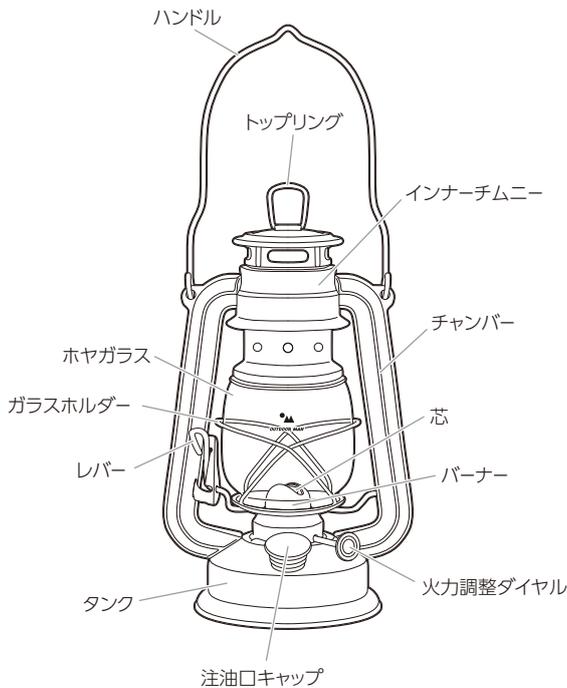
#### 注意

この表示は、内容を見逃すと対人的に障害を負ったり、対物的に損害の発生が想定される内容を示しています。

- 注油口とタンクのつなぎ目、チャンパー下部のタンクとのつなぎ目は構造上、完全に密封されていません。燃料が漏れる原因になりますので、燃料を入れた状態での傾き、転倒落下などには十分にご注意してください。
- 平らで安全な場所を選んで、安定している状態を確認してから使用してください。
- 風の強い場所・雨が当たる場所などでの使用しないでください。
- 燃焼中のランタンを持ち運んだり、移動はしないでください。
- 使用後に残った燃料は、必ず他の密閉できる容器などに移し替えてください。燃料を入れた状態で持ち運んだり、車などで運搬すると燃料が漏れる原因になります。
- 無理な力を加える・ぶつける・落とすなどの衝撃を与えないでください。
- 屋外・雨風が当たる場所・湿度の多いところで放置しないでください。
- 鉄製なので濡れたまま放置すると錆びる可能性があります。
- 使用後は、ススや油汚れを乾いた布などでよく拭き取ってください。
- ススなどでホヤが著しく汚れた場合、食用洗剤でよく洗浄してください。
- 子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところに置かないでください。

※誤った使用方法で発生するすべての事柄に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

### 各部名称

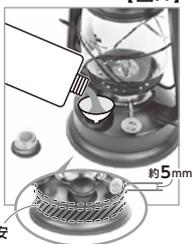


※こする部分に関しては塗装が剥がれていきます。経年変化で良い味を出していくのを楽しみてください。

### 使用方法

#### 1. 注油する

注油口キャップを開けて、ジョウゴなどを使用してタンクに燃料を入れてください。燃料は白灯油(家庭用の暖房器具に使用する灯油)、またはランタン用のパラフィンオイルをお使いください。燃料の量は注油口の内側の緑から5mm程度下の高さMAX(180ml)を超えないようにしてください。【図.1】



初めて使用する際は、注油してから約10分置いて芯に燃料を浸み込ませてください。

燃料の適量は、タンク肩口下の約3/4が目安

#### 2. 点火する

レバーを下げるとホヤガラスとインナーチムニーが上に持ち上がります。左側のチャンパー下部の切り欠き部分にレバーをはめてロックしてください。【図.2】火力調整ダイヤルを時計回りに回して芯をバーナーから1~2mm程出し、マッチなどで着火してください。【図.3】



レバーのロックを解除して、ホヤガラスとインナーチムニーを元の位置に戻してください。

#### 3. 火力を調整する

火力調整ダイヤルを回して炎の高さが1.5~2cmくらいになるように調整してください。【図.3】芯を出し過ぎるとススが出やすくなります。また少なすぎると明りがチラつく状態になるのでご注意ください。



芯を必要以上に出した状態で着火すると芯の消耗を早めてしまうだけでなく、製品自体の塗装が溶け固着してしまいますのでご注意ください。

#### 4. 消火する

火力調整ダイヤルを反時計回りに回して芯を下げて消火してください。消火後、芯を再度上げて火が完全に消えていることを確認してください。

芯は下げ過ぎないでください。下げ過ぎるとバーナー内部のギアから芯が外れ、タンク内に落下してしまうのでご注意ください。

#### ■消耗部品

※右記に記載されているのは消耗部品です。市販の平芯をご購入して取り替えてください。

●芯(バーナー内部)